横書き句読点の謎

渡部 善隆 †

みなさんは、かな漢字混じりの横書き文章をペンで書いたり、あるいはワープロで作成したりするとき、句読点は何を使われているでしょうか。横書きの句読点は、縦書きの場合と違い、三種類の句読点が入り乱れています。本稿はその混乱の状態をさらに加速させることを目的に書かれました。この記事を読んでも、飲み屋で話題に困った時や気の利いた話が見つからない昼飯時のネタにするくらいしか、読者の得るものはないと思います。私自身は、「てん・まる」と「コンマ・ピリオド」を、文章の内容とその日の気分によって使い分けていることを、まず白状しておきます。

本文は、内容が一見「個人の好み」と「根拠がよくわからない権威」との葛藤に陥りそうで、実は誰も深く考えていなかったし今後もそうであろう、という現実を考慮して、投げやりな対話形式としました。なお、本文での句読点は、句読点自身に意味がないかぎり、引用文献を含めてすべて「コンマ・ピリオド」にさせていただきました。その理由は、「、」「，」「。」「．」が紙面を跳梁跋扈する中で、この句読点がいちばん目立たないと思われるからです。

まえふり

A 今日は横書きの句読点について勉強しましょう．

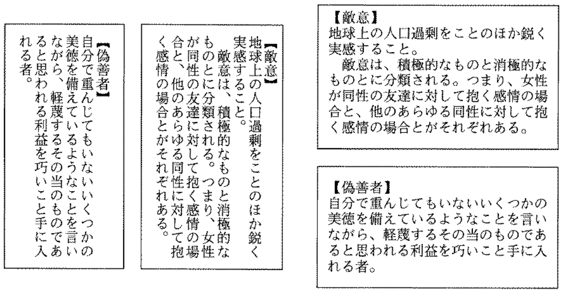
B ふぁ～い．

A 日本語には句読点というものがあります．

B 普通に言う「てん」と「まる」のことですね．

A そうです．ところで，日本語で文章を綴る場合，ほとんどは右縦書きか左横書きです．

B こんな感じですね．



【敵意】
地球上の人口過剰をことのほか鋭く実感すること。
　敵意は、積極的なものと消極的なものとに分類される。つまり、女性が同性の友達に対して抱く感情の場合と、他のあらゆる同性に対して抱く感情の場合とがそれぞれある。

【偽善者】
自分で重んじてもいないいくつかの美徳を備えているようなことを言いながら、軽蔑するその当のものであると思われる利益を巧いこと手に入れる者。

【敵意】
地球上の人口過剰をことのほか鋭く実感すること。
　敵意は、積極的なものと消極的なものとに分類される。つまり、女性が同性の友達に対して抱く感情の場合と、他のあらゆる同性に対して抱く感情の場合とがそれぞれある。

【偽善者】
自分で重んじてもいないいくつかの美徳を備えているようなことを言いながら、軽蔑するその当のものであると思われる利益を巧いこと手に入れる者。

左横書きと右縦書きの文章

A なんです，この的を射た……，もとい，ひねくれた文章は？

B かの有名なビアスさんの『悪魔の辞典』([1]) からの引用です．

A 縦書きの場合，どの文章を見ても句読点は同じで，句点が「。」，読点が「、」です．

B 確かに，その他の記号を用いているのは見たことありません．

A ところが，横書きの場合は，句読点の記号が分かれるのです．つまり，

	読点	句点
case 1	、	。
case 2	，	．
case 3	，	。

という三種類に．

B 残りの組合せの「、」と「．」は？

A これは，まずないでしょう．

B ありますよ，広報の *Vol.27,No.5* の編集後記は「、」と「．」でしたよ．

A （広報のバックナンバーを見ながら）げげ，本当だ．

B H.N さんがボーッとする話と，K 子さんが温泉と競馬に行く話ですね。

A でも，まあ，こんな間抜けなのは極めて少数だと思うので，考えないことにします．

B 各記号の読み方を決めておきましょう．

符号	読み
、	てん
。	まる
，	コンマ
．	ピリオド

こんな具合すかね．

A そうすね．

†九州大学大型計算機センター・研究開発部

句読点の歴史

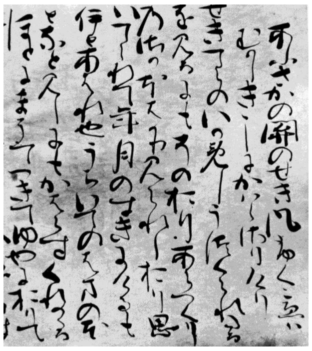
A まずは句読点の歴史からはじめます．[2] によると，

> 現代日本語の書き言葉では，「、」や「。」などの句読点を打つことが，一般には当然のことと考えられている．しかしながら今日のような句読法が定着し始めたのは，明治 20 年 —30 年代の頃であって，その歴史は驚くほど浅いと言わねばならない．
> 例えば，それ以前の明治 18 年に出版された坪内逍遥『小説神髄』には，句点，読点が使われていない．
>
> 『日本語解釈活用事典』

英語などの句読法はそれより早く確立されたはずなので，「，」「．」の方が「、」「。」よりも歴史があるわけですね．

B 成り立ちが早ければ偉いというもんでもないでしょう．早く生まれたからといって年上の人が常に偉いわけでもないし．

A えっと，それはおいといて，鎌倉前期の有名な歌人，藤原定家の文書を見てみます．



筆：藤原定家 (平凡社『世界大百科辞典』より)

A ご感想は？

B にょろにょろしていて，読めません．

A 句読点らしきものがないでしょう．この時代は，教養の一つとして文字を美しく書くことが重要視されていて，句読点などの符号は美観を損ねるものとして好まれなかったそうです．

B ふうん．

A 英語，フランス語，ドイツ語などの句読点または句読法を総称して punctuation といいます．punctuation の輸入は，16 世紀末から 17 世紀はじめにかけて，キリシタン版において使われたのが最初といわれています．

B 福音書の翻訳やキリストさんの話を広めるのに使われたのですね．

A 近代になると，1886 年頃から文学に punctuation が使われ出しました．句読点を用いた主な作家は，尾崎紅葉，山田美妙，幸田露伴，北村透谷などです．

B 名前は知っていますが，読んだことありません．

A いばらないように．えっと，てん（、）とまる（。）の発祥は，もともと漢文を読むための符号の一種だといわれています．

B つまり読解のための符号ですね．

A 句読法の基準化の試みとして，明治 39 年 (1906) に文部省大臣官房調査課草案の『句読法案』というのがあります．これは国定教科書の基準に使われました．

B 「句読法」と書かれると，法律の一種と思いそうですが，あくまで「句読法の案」で法律ではないのですね．

A もちろん．時代は下って戦後になると，文部省教科書局調査課国語調査室という，いかめしい名前の部署が，戦前の『句読法案』を改定して，『くぎり符号の使ひ方〔句読法〕案』を発表しています．昭和 21 年 (1946) のことです．これも簡単に『句読法案』とよばれる場合があります．

B バージョン・アップですね．

A それによると，くぎり符号は縦書き・横書きあわせて 19 種類です．次ページを御覧下さい．

B 『句読法案』には，横書きの句読点について何か基準が示してあるのですか．

A はい，準則の欄にこのように記してあります．

> ピリオドは，ローマ字文では終止符として用ひるが，横書きの漢字交りかな文では，普通には，ピリオドの代りにマルをうつ．
>
> 用例
> 1) 春が来た。
> 2) 出た，出た，月が。
>
> 『句読法案』(1946)

A なお，下線部は原文にはなく，こちらで引いたものです．以下，引用文献の下線部は同じく勝手に引きます．

主として縦書き		もっぱら横書き	
マル（句点）	。	ピリオド（トメテン）	.
テン（読点）	、	コンマ	,
ナカテン	・	コロン（カサネテン）	:
ナカセン ^{T}	— または ——	セミコロン（テンコンマ）	;
テンテン ^{T}	… または ……	引用符（カコミ）	《　》
テンセン ^{T}	‥‥‥‥		(　)
カギ ^{T}	「　」		“　”
フタエカギ ^{T}	『　』		
カッコ ^{T}	（　）		
ヨコガッコ	（　）		
(以下補助的なもの)			
ツナギ	‖	ハイフン（ツナギ）	-
ツナギテン ^{T}	-	半ガッコ	)
ワキテン ^{T}	、、、		
ワキセン	｜		
疑問符	？		
感嘆符	！		

『句読法案』（昭和 21 年）に掲げられたくぎり符号
(縦書きの “T” の部分は転置して御覧下さい)

B 読点はコンマですね．

A 用例をみてわかるようにコンマです．

B てんを使ってはいけないのですか？

A いけないとは何も書いてありません．

B 上の表を見て気になったのですが，縦書きは「主として」ですね．一方横書きは「もっぱら」ですね．この違いは何なんでしょう？

A 『句読法案』に書いてあるので，そのまま引用しただけです．『広辞苑』で調べてみましょう．

> 【主として】
> （ある物事の）特に中心になるものとして．おもに．もっぱら．

> 【もっぱら】
> その事ばかり．それを主として．全く．

B 同じやないですか．

A いやいや，「もっぱら」の方が少し意味が強いと思います．つまり，表にある「もっぱら横書き」の符号を縦書きに使うことがあまりないということでしょう．

B そんなもんですかね．

A 逆に，横書きの文章に縦書きの符号はよく使われるということです．

B なるほど．で，『句読法案』の適用範囲ですが．

A これは文部省で編集・作成する教科書や文書などの国語表記の基準として作成されたもので，この段階では単に文部省内部の基準にすぎません．もちろん，他の官庁や一般の文書の参考にはなったと思います．

B 一般社会にとっては，「案」と書かれている通り一つの案だったのですね．

A そうです．英語やフランス語，ドイツ語などの punctuation は，正しいと認められる規則の体系である正書法（orthography）がほぼ確立しています．

B しかし日本はまだだと？

A そうです．特に読点の打ち方についてなど各人バラバラで，とても正書法が確定しているとはいえません．

B まあ，そうですね．

A 『句読法案』にも次のように書いてあります．

> くぎり符号の適用は一種の修辞であるから，文の論理的なすぢみちを乱さない範囲内で自由に加減し，あるひはこの案を参考として更に他の符号を使つてもよい．
> なほ，読者の年齢や知識の程度に応じて，その適用について手心を加へるべきである．
>
> 『句読法案』(1946)

B なんだか後半の文章はすごくいばってますね．「手心を加える」とか言われると，悪徳代官とか収賄容疑で捕まる政治家なんかを想像しますね．

A くぎり符号については，論理がしっかりした文章ならば，ある程度柔軟に使っても構わないというのが見解のようです．

B あくまでくぎり符号は修辞，つまり「飾り」なので，そんなことより中身をしっかり書けということですね．ごもっとも．

A ということで，結論が出たのでやめましょう．

B いやいや．文部省の内部文書として作成された『句読法案』がその後どうなったのか知りたいです．

A そうですか．結構調べるの面倒なんですよ．

文部省の基準

A さて，日本語の正書法確立の任務を任されたのは，文部省です．

B まあ，少なくともまとめ役となる機関は他にないでしょうね．

A 戦後，文部省は手始めとして，それまで文語体縦書きだった公用文の大改革に着手しました．

B なんでまた公用文から？

A 理由は簡単です．公用文は国が公式に出す文書ですから，一般の文書のお手本になるとふんだわけです．つまり，

文部省の公用文を世の手本となるべく改革する
⇓
他の省庁も真似をするように説得する
⇓
他の省庁が追随する
⇓
公用文の規範ができる
⇓
一般の文書の参考として使われる
⇓
巷に公用文の規範が浸透する
⇓
正書法が確定する

という流れです．

B すごいっす．さすが文部省．

A その計画に従い，文部省は昭和 24 年（1949）に『公文用語の手びき』の改定版を，翌年には『文部省刊行物 表記の基準』を発表しています．後者は後に『国語の書き表わし方』と改題になっています．

B それには，横書き句読点の書き方はどうなっているのでしょう．

A 昭和 25 年（1950）に出された『国語の書き表わし方』の付録として，『横書きの場合の書き方』が示されています．

> 1. 横書きの場合は，左横書きとする．
> 2. くり返し符号は，「々」以外は用いない．
> 3. くぎり符号の使い方は，縦書きの場合と同じである．ただし，横書きの場合は「、」を用いず，「，」を用いる．
> 4. 数字を書く場合は，算用数字を用いる．（例略）ただし，慣用的な語，または数量的な意味の薄い語は，漢数字を用いる．《例略》
>
> 『国語の書き表し方』(1950)

B 『句読法案』とちがって，「てんを用いてはダメ」とはっきりと書いてありますね．で，この表記の基準は今も有効なので？

A はい．ほぼ同時期にそれまであった国語審議会が改組され，現在にいたる組織として発足しています．その報告集をざっと見た限りでは，横書きの表記についての修正はされていません．

B ということは？

A 国語審議会の意見を無視して文部省が独自の基準を打ち出すとは考えられないので，45 年前に決められた『横書きの場合の書き方』が少なくとも文部省のスタンダードとして，今も有効のはずです．

B ふうん．

A [3] によると，

> これらは主として公用文書など公的な文章の表記法の目安であり，一般個人の私的な文章や文学作品・学術論文などの表記を規制するものではないが，文部省管轄下の学校教育がこれらに準じて行われる上，新聞その他の報道機関も同調しているので，現代社会においてはこれらの規制にのっとって表記することが，伝達の効用の面からも必要になっている．
>
> 『新しい国語学』

B かなづかい，送りがな，外来語表記については確かに新聞・雑誌や報道はすぐに同調しますね．句読点についてもそうなんでしょうか？

A それは後ほど見ていきましょう．私が本屋に行って立ち読みした限り，横書きの教科書は，ごく一部の例外を除いて「コンマ・まる」に統一されていました．また，学習参考書なども「コンマ・まる」が多いです．

B 例外はどこです？

A 数研出版の数学，理科関係です．これは「コンマ・ピリオド」でした．

B おお，文部省の基準を守っていないとこがあるとは．

A 数研出版はかなり確信犯的にやっていて，有名な学習参考書のチャート式で，社会・英語は「コンマ・まる」で，数学・理科は「コンマ・ピリオド」にしています．

B ほう．で，数研の数学の教科書は文部省の教科書検定をパスしているのですね．

A もちろん．見事パスしています．

B まあ，見落しは誰にでもあるもので，来年は文部省も厳しい態度で臨むでしょう．しかし，「コンマ・まる」を教科書の基準にすると，正書法の確立にかえって逆効果と思うんですが．

A なっ，なんてことを．

B それに，授業で読点に「，」を使えなんて習わなかったけどなぁ……

A 昔の作文は縦書きでした．そのため，句読点はおのずと「てん・まる」でした．今はどうなっているのか知りませんが，先生が横書きの作文を生徒に指導しているなら，読点はコンマを書くように指導しているはずです．

B ほんとうに，世の先生方はこの基準をご存知なのでしょうか．

A ご存知のはずです．

B では，結論を．

文部省の基準は「，」と「。」

ここで質問があります．

A 何でしょう．

B 二つあります．

1. なぜ句点は「．」でなく「。」なのか？
2. なぜ読点は「、」でなく「，」なのか？

つまり，ピリオドとてんが嫌われる訳です．何か我々のあずかり知らぬ国語学，言語学的な理由があるのでしょうか．

A 残念ながらよくわかりません．また，調べた限り，明確に「．」と「、」が外された理由を示している文献がないのです．

B それはまずいですね．世の中には，きちんとした根拠を示した上で納得させずに，「文部省の基準がこうだから従え！」といっても，鼻であしらうような人が，特に研究者には多いですから．

A では，いろいろ参考書を調べながら探っていきましょう．その前に，基本的な前提として，以下にあげていく全ての執筆者は「ことば」の専門家として，文部省が昭和 25 年に出した基準をもちろん知っているということをお忘れなく．

B つまり，車の免許を持っている人は，すべて道路交通法を熟知していることと同じですね．

A そうです．国家公務員が全員日本国憲法をそらんじることが出来ることと同じです．

B うそをつきなさい．

左横書きは手が汚れません

公用文の改革

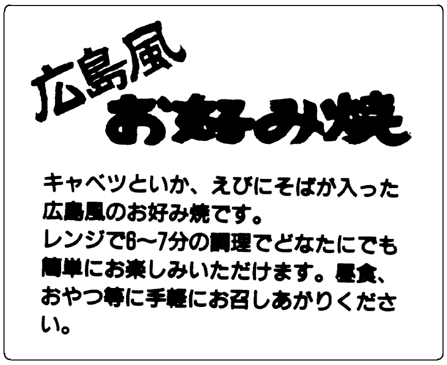
A 最初は，当時の国立国語研究所の日本語教育センター長さんも編者に入っている文献 [4] からの引用です．

> - 句点は「。」である．横書きの場合，ピリオド「．」が使われる場合もある．もちろん，横書きでも本書のように「。」を使ってもいい．
> - 読点（とうてん）は「、」であり，横書きのときに代わりにコンマ「，」が使われることが多い．横書きの場合は句点「。」が使われる率よりも読点「、」が使われる率の方が低いであろう．
> - 句読点は公用文では「，」「。」を使う．事物を列挙するときは「・」（なかてん）を使う．
>
> 『例解文章ハンドブック』

B これをみる限り，公用文で「コンマ・まる」を使う以外は，「コンマ・ピリオド」や「てん・まる」も横書き表記に “少しは” あると読めます．

A いやいや，句点については使い方が分かれていると書いてあるだけで，どっちが多く使われているかは書いてないです．

B しかし，読点に関しても，本当に「、」より「，」が多く使われているかちょっと疑問ですね．たとえばこんなのはよく見ますよ．



日本生活共同組合連合会の製品より

A こっ，これは，昨日食べたお好み焼きの袋ですね．

B ビールのツマミに最高っす．

A 確かに，コンマが一般の横書きで圧倒的に使われているとはとてもいえません．ただ，特に数式や欧文をたくさん使う本や雑誌では，あとの調査のように，コンマが多いみたいです．

B それは後ほど検討するとして，文部省の基準が示された約 30 年後に出版された『例解文章ハンドブック』からは，まだまだ「コンマ・ピリオド」が横書き句読点の正式な符号として確定したとは言えませんね．もっとも，教科書検定で「カンマ・ピリオド」の教科書を認めているように，文部省が本当に確定したいと思っているかどうかよくわかりませんが．

A 国語に携わる人がよく直面する「ことばのゆれ」という奴です．

B わかった．こんなのですね．

ことばのゆれ

B ぶっ．ちがいます．外来語の表記などは，もっとゆれまくっています．もともと句読点を「修辞」だと割り切ってしまえば，結局「見やすさ」といった個人の美意識にかなり関わってくる問題なので，スタンダードを宣言してもなかなか強く言えないのが現状でしょう．

B というより，文部省の推薦する句読点が「コンマ・まる」であることを，世間のどれだけの人が知っているかですね．

A それもあります．やはり，「コンマ・まる」が「コンマ・ピリオド」や「てん・まる」に比べてこんなに素晴らしいんだということを，ビシビシ宣伝する必要がありますね．

B さっきも言ったように，明確な根拠がなれれば反発は必至だと思いますが．

A はい．

B 話を公用文に限定して，横書き句読点の基準が示されたものはあるのですか？

A これは，権威だらけの基準があります．昭和 26 年 (1951) の第 12 回国語審議会総会において議決

された『公用文の左横書きについて』および『公用文改善の趣旨徹底について』の別冊として審議決定された『公用文作成の要領』というものがあります．

B 公務員が公用文を書く場合の手引書ですね．

A そうです．[5] を見ると，『公用文作成の要領』の「書き方について」の 5 の注 2 として，次のように書いてあります．

> 句読点は，横書きでは，「，」および「。」を用いる．
>
> 『公用文作成の要領』

B で，この要領が国語審議会で議決されたそのあとは？

A 昭和 26 年 (1951)10 月 30 日付けで建議されています．

B 建議？

A この場合，国語審議会として意見を申し立てることです．

B 誰に？

A 国語審議会会長名で，時の内閣総理大臣と文部大臣にです．こんな風に書いてあります．

> ついては，公用文改善の実をはかるために，この「公用文作成の要領」が関係方面に周知徹底するように適当な処置をとられることを要望いたします．
>
> 『公用文改善の趣旨徹底について』
> 国語審議会建議 (1951)

B おお，ということは，世の横書き公用文の句読点は「，」「。」にピッチリ統一されているのですね．

A 結論からいえば関係方面に周知徹底したとはいいにくいですね．「、」「。」の文書もよく見ます．

B やっぱり，世の中に「，」「。」という句読点の組合せが存在することさえ気づかずに日々過ごしている人も結構いるのではないですか．特に各自がワープロで簡単に文書を作るようになると．

A そりゃまたどうして？

B ふふふ．一つの例をあげましょう．おそらく役所や会社に最も普及しているワープロソフトであるジャストシステムの「一太郎」の句読点モードには，特別に句読点の設定をしないと「，」「。」の組合せがないのです．

A で？

B デフォルトの句読点の選択は「、」「。」か「，」「．」です．人間はめんどくさがりですから，あまり考えずにどちらかを使うのは当然です．文部省はジャストシステムに厳重抗議をすべきです．

A そんなことは私には関係ないので放っておくことにして，どちらかというと『公用文作成の要領』は，戦前まで文語体で書かれていたほとんど一般人には解読不能な特殊な用語や文体を，日常一般のことばに近づけることに主眼を置いていました．つまり，横書き句読点はあまり顧みられていないということです．それは句読点の表記が「注」の欄にこっそり書かれていることからもわかります．

B 先ほどの疑問の，何故「、」ではだめなのかの理由は示されていないでしょうか．

A 国語審議会の報告書を見る限り，分科会で句読点表記を検討したことは分かるのですが，どのような経緯で決められたか書かれていません．おそらく，あまり活発な議論はなくて，文部省がすでに決めていた案通りに決まったのだと思います．

B で，最終的に，公用文改革の成果はいかがでしょう？

A 公用文の意味を狭めて，国や地方公共団体の機関または公務員が職務上作成した文書を「公文書」といいます．要するに，公文書は公用文の中核をなすものです．

B 偽造すると罪になる奴ですね．

A しかし，公文書を「読みやすい文章のお手本として，日本語のテキストに使おう」と考える人はまずいません．それどころか，[6] では，次のように悪口を浴びせられています．

> 公文書は，どうしてあのように難しい表現をするのだろうか．戦前の法律は，すべて文語体で書かれていた．戦後，口語体になり，いくらかわかりやすくなったが，それでも表現そのものは旧態依然としており，一度くらい読んでも意味がくみ取れない場合が多い．（中略）公文書には悪文の見本みたいなものが多いので，まねしないほうがよい．
>
> 『新・文章の書き方 101 の法則』

B あらら．でも，公用文や特に公文書の第一の目的は，伝えたいことを正確に記述することでしょう？

A もちろんそうですが，それにプラスαが求められています．文部省の出している『公文書の書式と文例』には，「公用文は，どうあるべきか」という，ふりかぶった項があります．それによると，公用文を作る人が第一に心掛けることは「分かりやすい表現」であり，

> 一読して分かる文章であることである．難しい言葉を使ったり，回りくどい言い方をしたりしないで，適切であり，しかも易しく親しみのある表現をすることである．
>
> 『公文書の書式と文例』

とうたっています．

B すると，公用文は「正確で」しかも「わかり易く」，「親しみのある」文でなければならず，つまりは，よほど文章力のある人でない限り書いてはいけないのですね．

A そうです．

B 九州大学大型計算機センターの人はいかがでしょう．

A もちろん，一人を除いて全員が「正確で」しかも「わかり易く」，「親しみのある」文を書いているので，大丈夫です．

B 誰を除いているので？

A もちろん，この原稿を書いている人です．

B それは当然です．話がすぐにあっちゃこっちゃ飛ぶし，表現は要領を得ていないし，句読点も序文は「てん・まる」で，あとは「コンマ・ピリオド」だし……

A それでは，期待に応えて話をそらします．国語審議会の別の建議で面白いものを見つけました．『公用文改善の趣旨徹底について』の翌年に建議された『これからの敬語』に，こんなのがあります．

> 「さま（様）」は，あらたまった場合の形，また慣用語に見られるが，主として手紙のあて名に使う．将来は，公用文の「殿」も「様」に統一されることが望ましい．
>
> 『これからの敬語』(1952)

B これは，建議から 40 年以上経過したのに，遅々として「望ましい」方向に行っていませんね．

A ただ，『広辞苑』によれば，「殿」の方が「様」より敬意が軽いそうです．

B いろいろ実験してみましょう．

山田研究開発部長殿
佐藤システム運用室長様
殿間助手殿
境ライブラリ技術補佐員様
鈴木九州大学総合情報伝達システム運用センター長教授殿

なんだか肩書が名前を圧倒してますね．

A そうはいっても，私の知っている一介の高校の先生の話では，ある組織に話を通すため，名前だけ貸して実際は何もやっていない適当な肩書を名刺に十種類程印刷して受付に出したら，交渉がトントン進んだそうです．

B 自己実現のためには身分や地位が必要ということですか？

A そのような場合も，まあ，ないこともないですね．

理科系の文章

A 話題を横書きの句読点に戻しましょう．

B ふぁい．

A 次の [7] は，文章に関する辞書ではポピュラーなものです．

> （句読法とは）文や語句の切れ続きを知りやすくして，その文法的論理的構造を示したり，意味の上のまとめ方を示したり，また調子や口調を示したりするために，句点や読点などの符号を文字とともに使う法則．句読点には，
>
> 。　（まる，しろまる，句点）
> 、　（てん，読点）
> ・　（なかてん，くろまる）
>
> があり 《中略》 なお，横書きの文章には，
>
> ，　（コンマ）
> ．　（ピリオド）
>
> を使うやり方の ほか に，句点・読点を使ったり，また，コンマと句点とを混用したりする．
>
> 『新文章辞典』

B これによると，横書きでは「コンマ・ピリオド」が一般的みたいに思ってしまいますね．言外に「意味が通れば何でもいいよ」と匂わせているともとれますが．

A 次の文献 [8] は，横書き句読点の種類をきちんと分類をしてくれているものです．

> 左横書きでは
>
> まる（句点）　。
> てん（読点）　、
>
> が次のようになる
>
> 1. まる（。）とコンマ（，）
>   最も一般的な書き方．
> 2. まる（。）とてん（、）
>   縦書きをそのまま左横書きにする場合．
> 3. ピリオド（．）とコンマ（，）
>   論文や科学的な読み物などで，欧文に準じて書く場合．
>
> 『国語表記事典』

B 『国語表記事典』では，思いきり「まるとコンマが一般的じゃ」と言い切っていますね．ただ，文部省が決めた基準を守らない文書についてもちゃんと分類して存在を認めているようで．

A 『国語表記事典』の出版が昭和 62 年（1987）です．少なくともこの時点で，句読点の「棲み分け」が定着してきたと思われます．

B 分類できるくらいですからね．

A そうです．「ピリオド・コンマ」については，解説があったように，数式や欧文が多数登場する科学系の横書きの文章には，バランスからも「，」「．」がしっくりするという意見がかなりあります．たとえば，論文の書き方を解説した [9] を見ても，

> 横組の場合は，欧文に合わせて，読点にはコンマを，句点にはピリオドを使うことが多く見られます《あ，い．》．（中略）なかには，《あ，い。》や《あ、い。》が使われることもあります．
>
> 『論文執筆ルールブック』

B では，実験をします．まずは欧文に合わせて，読点にはコンマを，句点にはピリオドを使う例です．

> Lemma 2.1 より，q を $\operatorname{div} u_0 = -q$，$\beta|u_0|_1 \leq |q|_0$ をみたすようにとれば，$\delta(u,p) \geq |q|_0 \geq \beta|u_0|_1$．

次は縦書きの句読点のままです．

> Lemma 2.1 より、q を $\operatorname{div} u_0 = -q$、$\beta|u_0|_1 \leq |q|_0$ をみたすようにとれば、$\delta(u,p) \geq |q|_0 \geq \beta|u_0|_1$。

A この場合，「、」と数式・欧文との親和性の問題です．異論があるかも知れませんがコンマを使う人の意見は

- 「、」を使うと「間延びした」感じがする．要するに仕上がりにシマリがなく間抜けだ．
- 「，」を使うと区切りがはっきり読め，引き締まった感じを受ける．

といったところでしょうか．

B 特に科学論文などでは，

$$A_1, A_2, \ldots, A_n, B_1, B_2, \ldots, B_m$$

みたいに，放っておいてもコンマが頻出します．だから，てんを使わないで全部コンマに統一した方がすっきりする，という意見もあって当然ですね．

A 逆に「てん」に換えるとこうなります．

$$A_1、A_2、\ldots、A_n、B_1、B_2、\ldots、B_m$$

B うーん．これはかっちょ悪いですね．

わかった．論文はすべて英語で書けば問題ないじゃないですか．

A あなたも書くんですよ．

B やめましょう．

A でも戦後盛り上がった日本語改革では，日本語表記をすべてローマ字にすべしという「ローマ字会」が，漢字を廃止してカタカナに統一すべしという「カナモジカイ」と共同声明を出しています．[11] を見ましょう．

> 漢字にはいろいろな特色があるが，これまでに簡単に述べたように，今の日本語とその表記法との欠点の源が漢字にあるとすれば，その欠点を根本的に除くには，どうしても漢字をやめなければならないことになる．（中略）カナ論者もローマ字論者も漢字をやめようという点では一致する．
>
> 『日本語の批判的考察』

B すみません．その二つの団体をよく知らないのですが．

A では解説を，

【ローマ字会（羅馬字会）】

日本語を書くのにローマ字を用いようと主張する団体．明治 17 年（1884）文部大臣，東京帝国大学学長を務めた社会学者外山正一が首唱して発足．ヘボン式ローマ字つづり方は，この会が同 18 年に定めた『羅馬字にて日本語の書き方』によっている．

【カナモジカイ】

日本語を書くのにカタカナを用いようと主張する団体．大正 9 年（1920）住友商事理事の山下芳太郎の設立した「仮名文字協会」を前身とする．カナモジ論推進の論拠は，

- カナは 50 字を学習すれば足りる
- カナタイプの熟練者は，普通の人の話をそのままタイプできる．
- ローマ字と違いカナは日本でくふう案出された文字である．

など．

このあたりの経緯は [10] に詳しく書かれています．

B ふむふむ．それから？

A [11] の続きをみましょう．

> 現にカナモジカイと日本ローマ字会とは 1946 年 6 月 5 日に共同声明を出して，「現在の書きコトバはカナモジカイが主張してきたように，横書きに改め，漢字を次第にへらして、ついには横書きカタカナばかりに至らしめ，一方，ローマ字は最も合理的でカンタンな日本式綴りかたに統一し，それを教育と実用との方面におしすすめるという二つの線にそうて，現実の文化活動をさまたげず，しかもきわめてすみやかに，漢字を一般の書きものからしりぞける．」という方針で力を合わせていくことにした．
>
> 『日本語の批判的考察』

B おお，特に日本ローマ字会の活動が実を結べば，多分句読点はコンマとピリオドに統一されますね．しかし，その，思いっきり反発を食らいそうな宣言だな．

A 話題をもどして，センターの図書室にある理科系の本を見て，句読点の傾向を調べてみます．同一出版社は避けて手あたり次第に選んでみました．

B センターの図書室ですから，数学や計算機科学・情報科学関係の本に限った調査ですね．

A はい．次のページを御覧下さい．

B やはり，コンマとピリオドが多いですね．

A 情報処理関係の本で「てん・まる」だったのは，IBM の『コンピューティング辞典』だけでした．他にもあげておくと，『神経回路網の数理』や『SALS 入門』もコンマ・ピリオドです．

B むむ．

A ついでに『解析概論』もコンマ・ピリオドです．

B では，いい加減な調査ですが，結論を出しておきます．

理科系の論文・書籍は「，」と「．」が多い

「まる」を使うわけ

A 続いては，横書きの句点として「。」を用いる理由を説明している文献を紹介します．[12] によると，

> （横書きでは）テンの代わりにコンマ，マルの代わりにピリオドと考えたいところですが，このことについては色々と意見があります．まず，同じポイントの活字ではピリオドが見にくい，また，ナカテンと間違いやすい……というのが，それらの意見の集約で，したがってヨコ書きでも，マルを使っているのが実際です．私自身も，ヨコ書きの場合にはマルを使います．この方が視覚的に「休止」が明瞭だ，と思うからです．
>
> 『文章は，句読点で決まる』

B ふむふむ．つまり，ピリオドを句点とすると「見にくい」ことと「・と間違える恐れがある」ことから，句点はまるがいいと主張しているのですね．対して「てん」の方はどうでしょう．

A 読点について [12] にはなにも書いてません．ただし，横書きを導入する大きな動機は「数式やローマ字との相性がいい」ことだったはずですか

「，」「。」	「，」「．」
情報科学講座 / 共立出版 情報処理シリーズ / 培風館 コンピュータ数学シリーズ / コロナ社	人工知能大辞典 / 丸善 情報処理ハンドブック / オーム社 情報ネットワークハンドブック / 電子情報通信学会 サイエンスライブラリ情報電算機 / サイエンス社 人工知能シリーズ / 昭晃堂 共立数学講座 / 共立出版 岩波講座 基礎数学 / 岩波書店 システム工学講座 / 日刊工業 コンピュータ・サイエンス研究書シリーズ / 日本コンピュータ協会 朝倉現代物理学講座 / 朝倉書店

センターの図書室の理科系の本の句読点

ら，その面から考えると，コンマを選んだ理由が推測できます．

B では遡って，昭和 25 年 (1950) に文部省が出した基準のまとまる経緯を考えてみましょう．

1. 横書きの句読点はどうしましょうか．縦書きのまま「、」「。」にするか，それとも欧文スタイルの「，」「．」にするか。
2. 相談しましょう．
3. やはり，横書きの先輩である欧文スタイルにならって，「，」「．」にしましょう．数式やローマ字との相性もいいし．
4. そうしましょう．
5. でも句点の「．」は見にくいし「・」と間違え易いので，句点は「。」にしましょう．
6. おお，そうしましょう．

てな具合すかね．

A 「はないちもんめ」と一緒にしないように．

B 失礼しました，でも，「見ための奇麗さ」なんかは，ワープロや日本語タイプライターの水準，あと印刷技術によってもかなり変わってくる気がしますが．

A そうですね．また，「、」が数式や欧文とのバランスで嫌われた理由はそれなりに理解できるのですが，それ以外の，縦書きにしても不自由なく読める文章にも一律「，」にしなければならないのかと言えば，これは異論がどっと出そうですね．

B どのような異論が？

A つまり，縦書きの「、」に慣れ親しんでいて，横書きでも「，」より「、」の方が好きな人もいるわけです．特に数式や欧文が全然ない横書きの文章に「，」を打つと，「堅い」という印象を持つ人も多いでしょう．

B 所詮「コンマ・まる」は混用であって，日本語ならば「てん・まる」を使うべきだということですね．

A 新聞や文庫本はほとんど縦書きの世界ですから，それに慣れ親しんだ人の意見は，「横書きは縦書きのアナロジー」という線で，「、」「。」に近づいていきます．

B そのあたりを見ていきましょう．

A [13] では，このように書いています．

> 横書きの文章でのくぎり符号は，縦書きの文章のくぎり符号の使い方に準じます．次にあげるものは，横書きの文章に使うものだけです．
>
> 1. ピリオド（．）
>   縦書きの文章に用いる “まる” にあたるものですが，漢字かなまじり文では，横書きでも “まる” のほうが納まりがよいので，ピリオドは次のような特別な場合だけに用います．
>
> | | |
> |---|---|
> | 46.8.29 | 省略符号 |
> | ￥25,800.50 | 円の単位 |
> | 0.125 | 小数の単位 |
>
> 2. コロン（以下略）
> 3. ダッシュ（以下略）
>
> 『何でもわかる ことばの百科事典』

B 「縦書きの文章のくぎり符号の使い方に準じる」と書いてあるので，この本によると「てん・まる」が標準ということですね．

A そうなります．

B う~む．辞書で有名な三省堂が文部省の基準を知らないはずはないし．

A 「。」については，「納まりがいい」からと理由が述べてあります．

B 読点については？

A えっと，書いてありません．

B う~ん．きちんと書いて欲しいですね．

出版社の基準

B 一般の横書き文章はどうなっているのでしょう．

A 結論を先に言えば，バラバラです．講談社がもともと社内の資料として作成していた [14] に端的に記されています．

> 縦書きには「。」「、」を使います．
> 横書きには「。」「、」，または「。」「，」か「．」「，」の いずれでもかまいません が，それぞれの雑誌，書籍で統一します．
>
> 『日本語の正しい表記と用語の辞典』

B 発行する雑誌や本の性格によって使い分けろということですね．

A そうです．

B ほかには？

A 話を記者に限定すると，文部省に対立する基準がでてきます．マスコミ関係者必携のハンドブック [15] には，このように書いてあります．

> 文章の区切りを示すために用いる句点は「。」，読点は「、」を使う．「．」「，」は使わない．
>
> 『記者ハンドブック』

B これは共同通信社が出している権威あるハンドブックですね．

A そうです．

B それに力強く，「コンマ・ピリオドは使わない」と宣言してしまってますね．

A それどころか，

> このハンドブックが旧版同様，マスコミ界だけでなく，官庁，会社，教育界その他一般の方々にも広く活用していただけるよう願っています．
>
> 『記者ハンドブック』第 5 版まえがき

という具合に，公文書にもこのガイドブックを使って欲しいと訴えています．

B 新聞・雑誌は基本的に縦書きですが，最近囲み記事の形で横書きの文章も見るようになりました．そのほとんどが「てん・まる」なのがこれで納得できます．

A 横書きの新聞は少ないですが，たとえば小倉に行くとどこでも買える横書きの『競馬ブック』は「、」「。」を使っています．

B ということで，

記者の基準は「、」と「。」

でも『記者ハンドブック』には，なぜ「，」と「．」を排斥するのか，ワケが書いてないですね．

A 多分これは違うと思いますが，[16] には，「，」を嫌う理由が書いてあります．

> 1. 句点は横書きでも（。）を使う。《中略》
> 2. 横書きの読点は（，）が普通であるが、（、）でもよい。
>   実際に書くとき、（，）は わずらわしい。
>   自治省の基準も（、）である。
>
> 『新しい常用国語のすべて』

B なるほど，書く場合「，」は面倒なので嫌っているのですな．

A ピリオドについては最初から触れられてもいません．

B 可哀想に．

A 数式や欧文を多用しない場合も，これまで見てきたようにいろいろな意見があります．先ほどは数式と混じりあった文章で試したので，今度はエッセイで実験してみましょう．

B はい．まずは「、」「。」です．

ファミリーの寝ている部屋を覗いて、小声で「行ってきます」。ファミリーは凄い格好であった。父は大の字、娘はその父の右脇腹に、見事なドロップキックを決めている。母はクーラーの効いている隣の部屋のソファーで、クッションを抱きしめ丸くなっていた。

つぎは「，」「。」です．

ファミリーの寝ている部屋を覗いて，小声で「行ってきます」。ファミリーは凄い格好であった。父は大の字，娘はその父の右脇腹に，見事なドロップキックを決めている。母はクーラーの効いている隣の部屋のソファーで，クッションを抱きしめ丸くなっていた。

最後は「，」「．」です．

ファミリーの寝ている部屋を覗いて，小声で「行ってきます」．ファミリーは凄い格好であった．父は大の字，娘はその父の右脇腹に，見事なドロップキックを決めている．母はクーラーの効いている隣の部屋のソファーで，クッションを抱きしめ丸くなっていた．

B 現在，小説や評論などはほとんど縦書きですよね．マンガも縦書きだし．

A 新聞とマンガ以外の文章を読まない人もたくさんいるでしょうね．

B やはり，縦書きに慣れている人が見ると，「、」「。」がすらすら読めるような気がしますね．数式や英文と混じってないと，それほど間延びした印象もないし……

A 「，」や「．」を使うと，理科系の文章に「，」「．」が多いことと，苦手だった英語を何となく意識してしまって，文章が堅苦しく見えてくるとかいうことがあったりするでしょう．

B それは想像に難くないですね．

A 言い方が「かたい」ですよ．

B 横書き読点の符号については，話がややこしいですね．やっぱり「、」は間延びして嫌いだ．とか，逆に「、」を使うと文章が軟らかくなるなどの意見もあります．

A 無理して統一しないでも，「読みもの」と「形式張った文章」と「科学論文」など，文章の内容に応じて句読点を使い分けるのも一案だと思います．

B そうですね．文字を打ち出す印刷方法，書体，さらに文章自体の上手・下手や個人的な怨みつらみなど，文章を見る人自体にもさまざまな要素が絡ますからね．

A とにかく，ここまでわかったことをまとめておきます．

1. 文部省が昭和 25 年 (1950) 年に出した「，」「。」という基準は，公用文や問題集など「堅い」文章を除いて，未だ一般の文書の基準となっていない．
2. 数式が多く出る科学技術系の文書には，数式や欧文の親和性から「，」「．」がよく用いられる．
3. マスコミの基準は「、」「。」であり，縦書きの延長として，新聞・雑誌の横書きの文章に多く使われている．
4. 「，」「。」が一般的とか普通であるという文献があったが，かなり疑問．端的な証拠として，出荷時の一太郎の句読点モードに「，」「。」がない．
5. 句読点には，文章の内容によって，適・不適がある．
6. 文部省および国語審議会が，「，」「。」の基準をこれまで精力的に押し進めなかったため，横書き句読点の棲み分けが出来つつある．
7. それ以前に，誰も何も考えていないフシがある．

B 私は，最後の結論に賛成です．

A では，この原稿も顧みられることはないでしょう．

B そうっすね．

A 横書きに関しては面白い資料があります．国立国語研究所では，『横組みの字形に関する研究』([17]) を報告しています．どこが面白いかといえば，内容ではなく，報告の文章自体は「，」「。」で統一されているのに，被験者に渡す調査

票や実験に用いる横書きの文章が「、」「。」で書かれているのです．

B そのこころは？

A 『横組みの字形に関する研究』は論文形式なので，格式を持たせて「コンマ・まる」を用い，実験用紙は「読みもの」として「てん・まる」を用いたと考えるべきでしょう．

B おお，見事な棲み分けですね．

A もしかしたら，横書きの字形の研究に没頭していて，句読点についてはなんにも考えていなかったのかも知れません．

公用文の世界

A 昭和 26 年に国語審議会から建議された『公用文作成の要領』は，翌年，内閣から各官公庁に通知されています．

B それによると，公文書は横書きとし，句読点は「，」「。」を用いることでしたね．

A そうです．そして内閣総理大臣官房総務課が監修した『新公用文用字用語例集』[5] にも『公用文作成の要領』がしっかり掲載されていることからも，通知から 40 年以上たっても，規範としてしっかりと生き続けています．

B 公用文というのは，どの範囲を指すのですか？

A 定義は「国や公共団体が出す公式の文書に用いる文章」です．

B 『九州大学大型計算機センター広報』は？

A もちろん，国立大学の施設が発行しているものですから，公用文です．

B では各省庁が毎年出す白書や青書は？

A これは文句なく公用文です．

B 運転免許証や保険証，パスポートの文字は？

A これこそ，国が発行する最も大事なものの一種です。もちろん書かれている文は公用文です．

B では，これらの句読点は全て「，」「。」で書かれているのですね．

A まあ，調べてみましょう．刊行物は平成 6 年度のおもなもの，その他は 1995 年 4 月現在の最新の調査です．

「，」「。」	「、」「。」
通産白書（通産省）	運輸白書（運輸省）
観光白書（総理府）	科学技術白書（科学技術庁）
交通安全白書（総務庁）	環境白書（環境庁）
青少年白書（総務庁）	原子力白書（原子力委員会）
厚生白書（厚生省）	建設白書（建設省）
全国市町村要覧（自治省）	労働白書（労働省）
	経済白書（経済企画庁）
	外交青書（外務省）
	行政機構図（総務庁）
	ハングル資料調査報告（学術情報センター）
	政府刊行物月報（政府刊行物普及協議会）
	運転免許証（公安委員会）
	文部省共済組合員証
	日本国旅券（外務省）
	郵便貯金総合通帳（郵政省）
	官報

B あらら，見事にバラバラだ．官報が「てん・まる」なのは驚きましたね．

A 官報は縦書きがほとんどなので，横書きはその延長とみなしているのだと思います．

B でも，公用文の表記の基準は守っていませんよ．

A そんなこと，私にいわれても知りません．

A もっとすごいのは，通産大臣官房広報課が出している「通産ジャーナル」と，郵政弘済会の出している「郵政」という雑誌は全て縦書きになっています．

B なんと．これも公用文なのに．

A 参考に九州大学中央図書室とセンターの図書室にあった横書きの雑誌および定期刊行物の句読点を見ます．すべて 1995 年 2 月現在の最新号です.

「、」と「。」
工業写真 / 写真工業出版社
FM fan / 共同通信社
文明のクロスワード / 博物館等建設推進九州会議
UNIX Magazine / ASCII
九州大学先端科学技術共同研究センターニュース
九州大学大学史料室ニュース
九州大学医学図書館ニュース
九州大学大学教育センターニュース
九州大学研究紹介 (1994)
九州大学の概要 (平成 6 年度)

「，」と「。」
航空ファン / 文林堂
日経コミュニケーション, CG / 日経 BP 社
日経サイエンス / 日経サイエンス社
Computer Today / サイエンス社
九州大学広報
九州大学学報
九州大学附属図書館報
九州大学全学共通教育広報

「，」と「．」
NTT 技術ジャーナル / NTT
無線と実験 / 誠文堂新光社
月刊天文 / 地人書館
CQ ham radio，インターフェース / CQ 出版社
月刊 ASCII / ASCII
人工知能学会誌 / 人工知能学会
コンピュータソフトウェア / 岩波書店
数理科学 / サイエンス社
数学セミナー / 日本評論社
情報処理 / 情報処理学会
bit / 共立出版

締め

A さて，なにか結論を出しておかないと，広報教育委員会からクレームがつきますよ．

B そうですか？ このネタをふくらませれば，言語学の論文になりませんか？

A なりません．

B 結論は最初から見えていて，句読点が文章を見やすくする「飾り」であると考えれば，文章の内容に応じて柔軟に使い分けてもいっこうに構わないし，むしろそうするべきだと思いますね．

A 一般の文章はそれでいいのですが，こと公用文については？

B えっと，本や雑誌など，あるまとまった単位で閉じられている文章の句読点については，『句読法案』にあるように，内容に応じ編集者の裁量で決めていいと思います．対して，ガチガチにフォーマットが決まっている公文書などはきちんとした基準を決めて，それに従った方がいいでしょうね．

A 現実を反映した見事な意見ですね．

B 他にどないせぇというんですかい．

A では，最後に大宅壮一さんのありがたい話で締めたいと思います．

> 「だいたい，頭の悪い人ほど難しい文章を書くものだ．逆に，頭のよい人はわかりやすい文章を書く場合が多い．なぜだろうか．頭のよい人は，自分の頭の中をろ過器にして文章を書くからだ．マスコミの文章は，たくさんの人に読んでもらわなければ意味がない」
>
> 『新・文章の書き方 101 の法則』

さて，この原稿は？

B （沈黙）ゴホゴホ……．そうだ，お好み焼き食べに行きましょう．ビールがのみたいっす．

A そういえば，最近信じられない程まずいビールがどうゆう嗜好に支えられているのか良くわかりませんがなぜか売れてないですか？

B ああ，あれですね．「[redacted]か．

A ま，待ちなさい！やっぱり，これは，ものすご～く難しい問題なのでやめましょう．

B はい．お疲れ様でした．

国語表記で悩む書家
illustration : Hidaki, Naoko

最初に書いたように、飲み屋のネタにするために横書き句読点についての論点を整理しておきます。喧嘩になって殴られないようにご注意下さい。

- どの句読点が好きか？
  「好み」の議論です。下手をすると公理論体系を持ちだした宗教論争になる可能性もあります。

- 文部省の基準を守る必要があるのか？
  紛糾すること間違いなしの話題です。ただし公用文に限っても表記がバラバラなのは見た通りなので、話の切り口が難しそうです。これも最後は「法」やら「自由」やら抽象的な言葉が飛び交うでしょう。誰かの悪口大会に収束するかもしれません。

- 教科書のほとんどが「カンマ・まる」なのに、なぜ一般の文書に定着しないのか？
  教育論です。教育については誰もが一家言あるので、盛り上がるでしょう。

- そもそも上手な文章とは？
  これも最後は悪口大会になること必至です。

参考文献

[1] A. ビアス 著, 奥田 俊介, 倉本 護, 猪狩 博 訳：『悪魔の辞典』角川文庫, 1975.

[2] 渡辺 富美雄, 村石 昭三, 加部 佐助 編：『日本語解釈活用事典』ぎょうせい, 1993.

[3] 佐田 智明, 福田 益和, 藤井 茂利, 添田 建治郎, 山口 康子, 田尻 英三：『新しい国語学』朝倉書店, 1988.

[4] 塩田 紀和, 野元 菊雄, 平山 城児, 三沢 仁 編著：『例解文章ハンドブック』ぎょうせい, 1981.

[5] 内閣総理大臣官房総務課 監修：『新公用文用字用語例集』ぎょうせい, 1986.

[6] 大隈 秀夫：『新・文章の書き方 101 の法則』日本実業出版社, 1985.

[7] 白石 大二 編：『新文章辞典』ぎょうせい, 1984.

[8] 武部 良明：『国語表記事典』角川書店, 1987.

[9] 中村 健一：『論文執筆ルールブック』日本エディタースクール出版部, 1988.

[10] 武部 良明：『国語国字問題の由来』岩波講座日本語 3, 岩波書店, 1977.

[11] 岡本 千万太郎：『日本語の批判的考察』白水社, 1954.

[12] 大類 雅敏：『文章は，句読点で決まる』ぎょうせい, 1990.

[13] 平井 昌夫：『何でもわかる ことばの百科事典』三省堂, 1990.

[14] 講談社校閲局編：『日本語の正しい表記と用語の辞典』講談社, 1992.

[15] 『記者ハンドブック～用字用語の正しい知識～』共同通信社, 1994.

[16] 北田 忠 編：『新しい常用国語のすべて』全国商工 MG 普及会, 1982.

[17] 水野 賢, 高橋 太郎, 渡辺 友左：『横組みの字形に関する研究』国立国語研究所報告 24, 1964.

[18] 文化庁国語課 監修：『国語表記実務提要』ぎょうせい, 1969.